

問1-2 くらしが苦しくなったと感じる理由

問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。

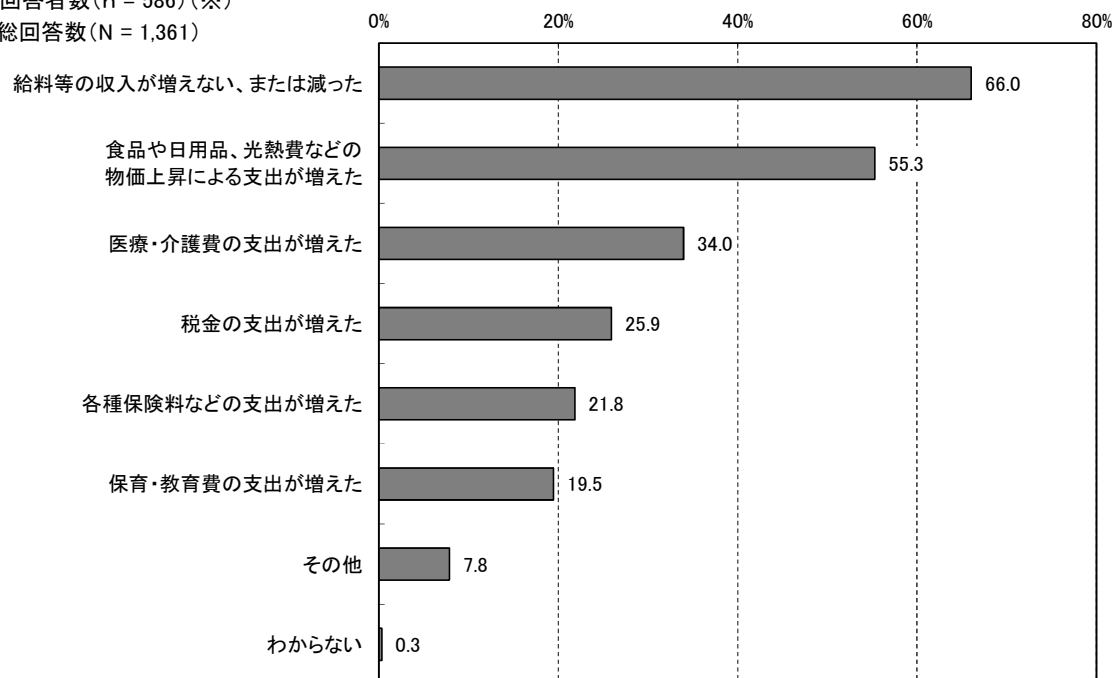
あなたが、くらしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。
(3つまで)

全体(図1-2-1)でみると、「給料等の収入が増えない、または減った」が66.0%と最も高く、次いで「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」(55.3%)、「医療・介護費の支出が増えた」(34.0%)の順となっている。

図1-2-1 くらしが苦しくなったと感じる理由

回答者数(n = 586)(※)

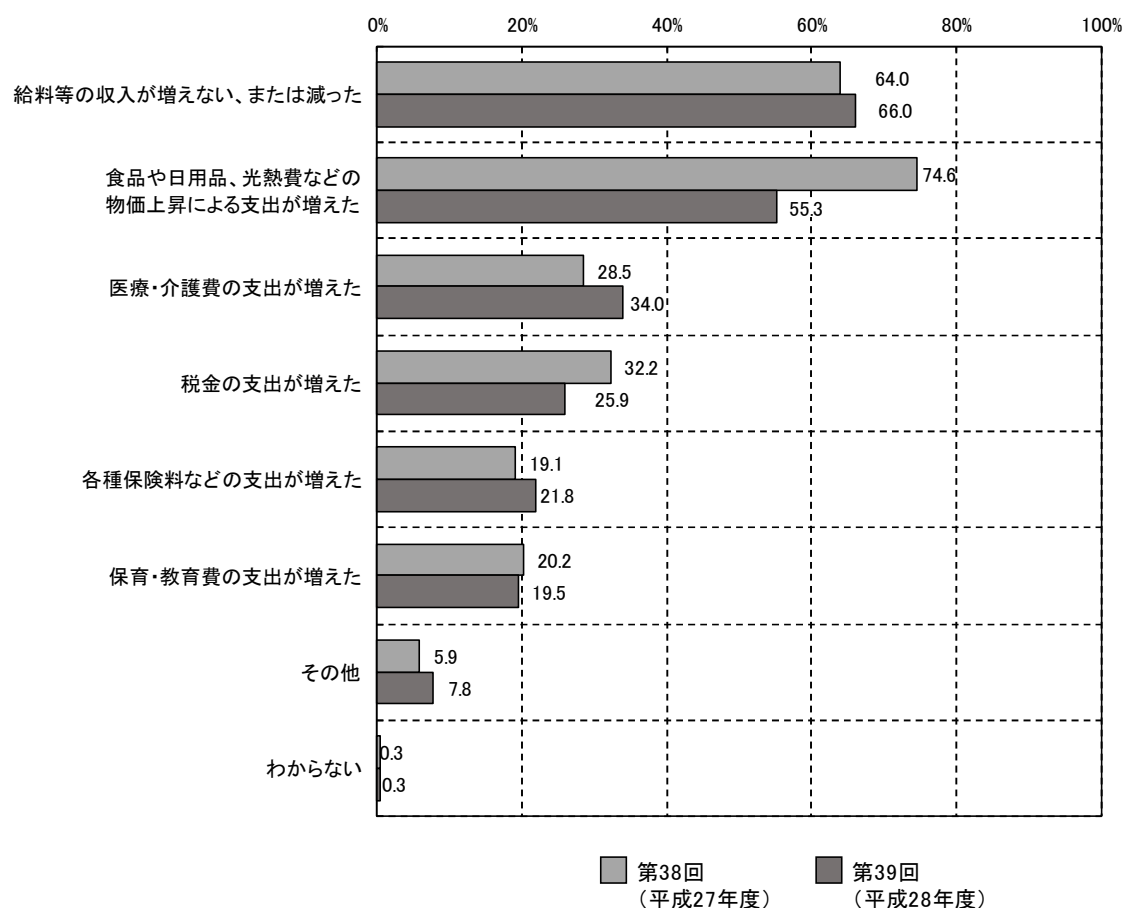
総回答数(N = 1,361)



※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

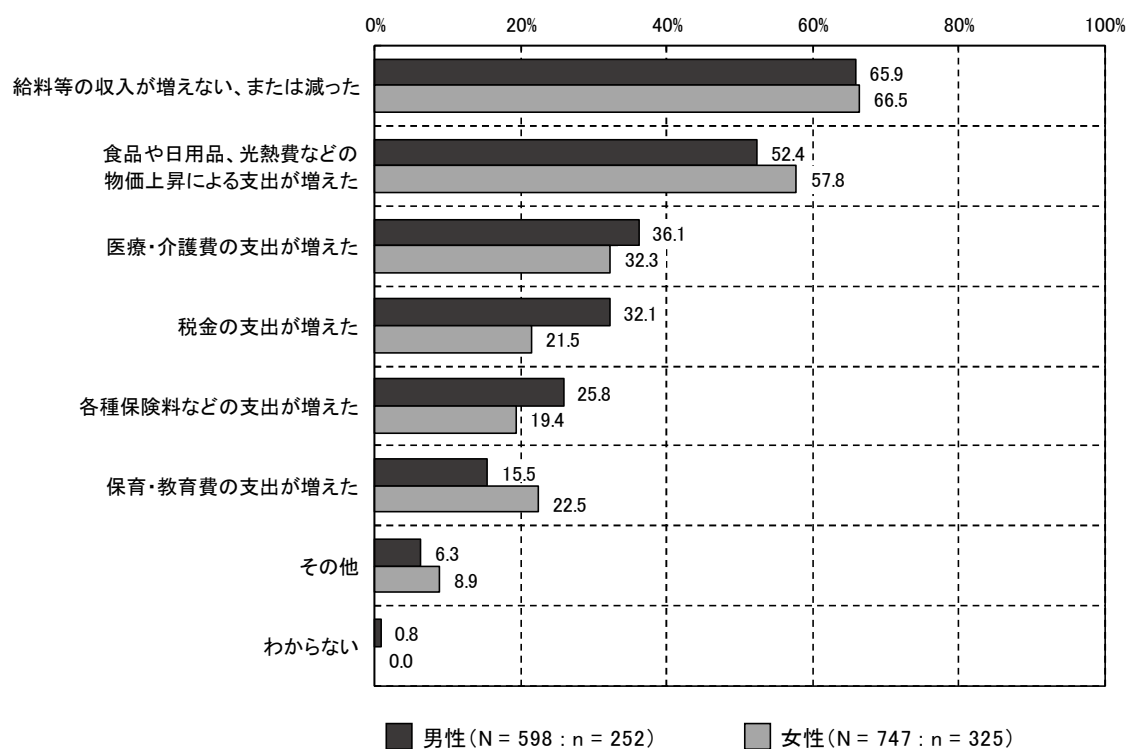
前回比較（図 1-2-2）でみると、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」は 55.3%となっており、前回に比べて 19.3 ポイント減少している。「医療・介護費の支出が増えた」は 34.0%となっており、前回に比べて 5.5 ポイント増加している。「税金の支出が増えた」は 25.9%となっており、前回に比べて 6.3 ポイント減少している。

図 1-2-2 【前回比較】くらしが苦しくなったと感じる理由



性別（図 1-2-3）でみると、男女ともに「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高くなっている。「税金の支出が増えた」は男性が 32.1%となっており、男性が女性より 10.6 ポイント高くなっている。

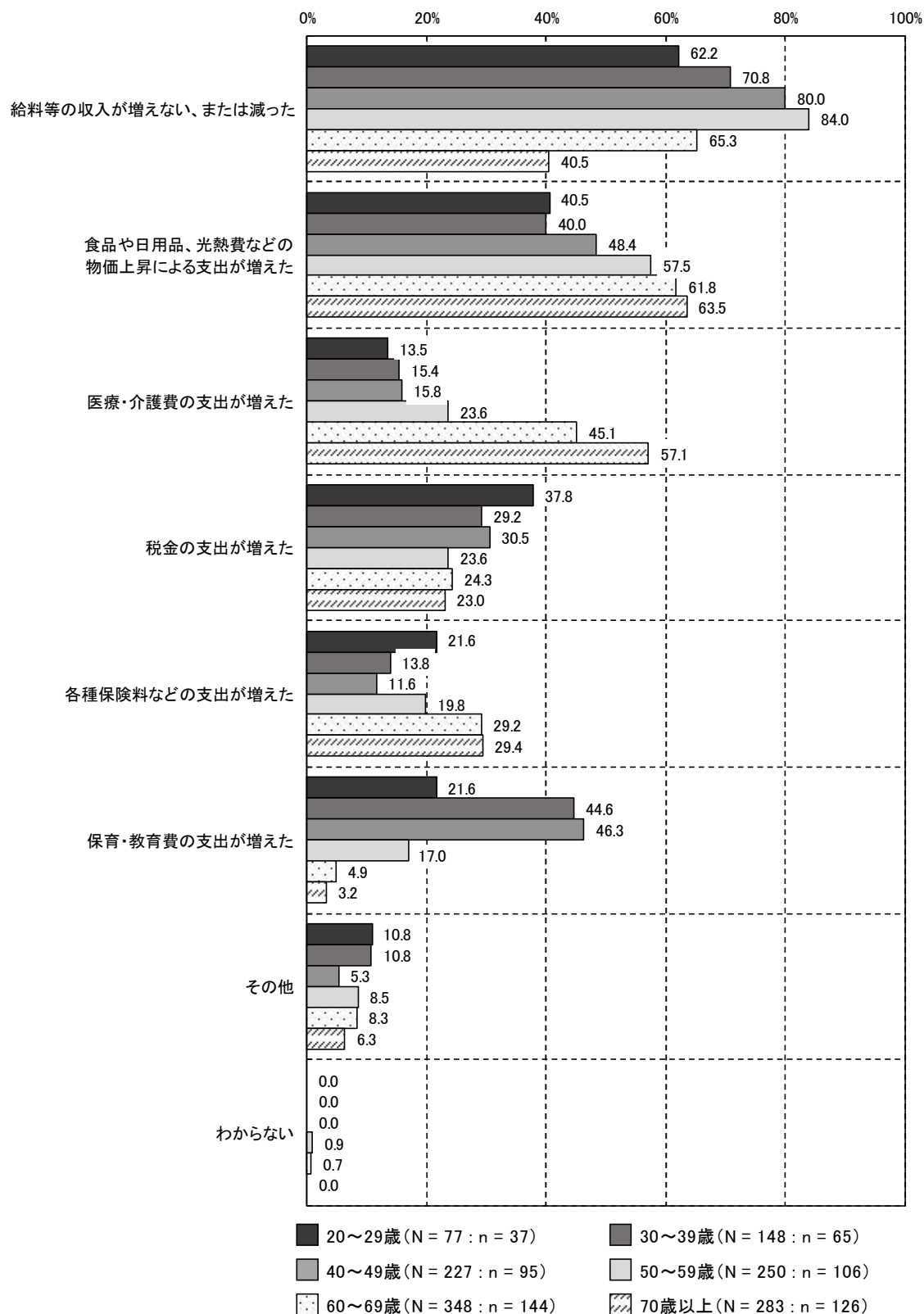
図 1-2-3 【性別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ N＝総回答数 n＝回答者数

年代別（図 1-2-4）でみると、70 歳以上を除くいずれの年代においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち 50 歳代が 84.0%と最も高くなっている。70 歳以上では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が 63.5%と最も高くなっている。

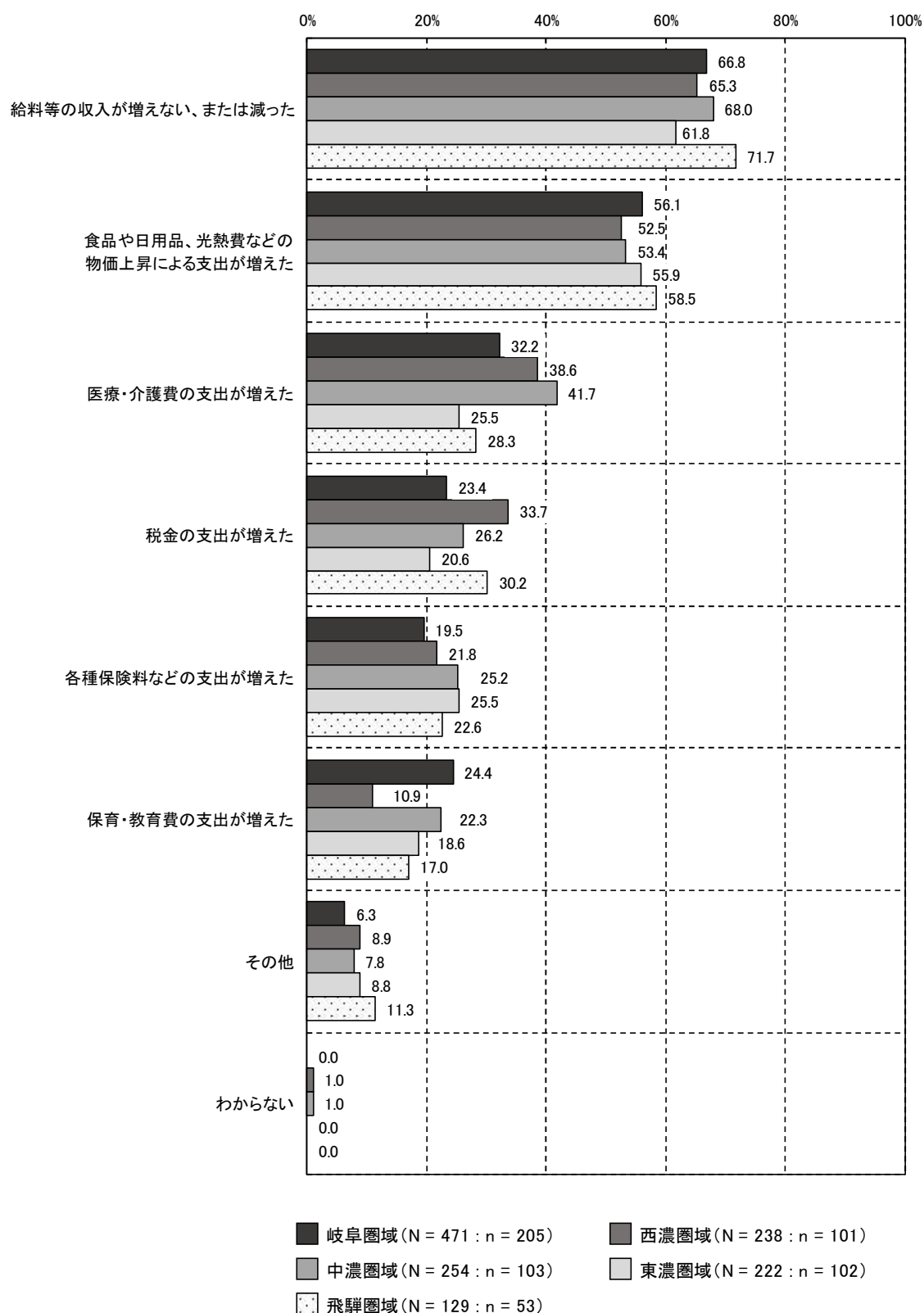
図 1-2-4 【年代別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ N＝総回答数 n＝回答者数

居住圏域別（図 1-2-5）でみると、いずれの居住圏域においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち飛騨圏域が 71.7%と最も高くなっている。

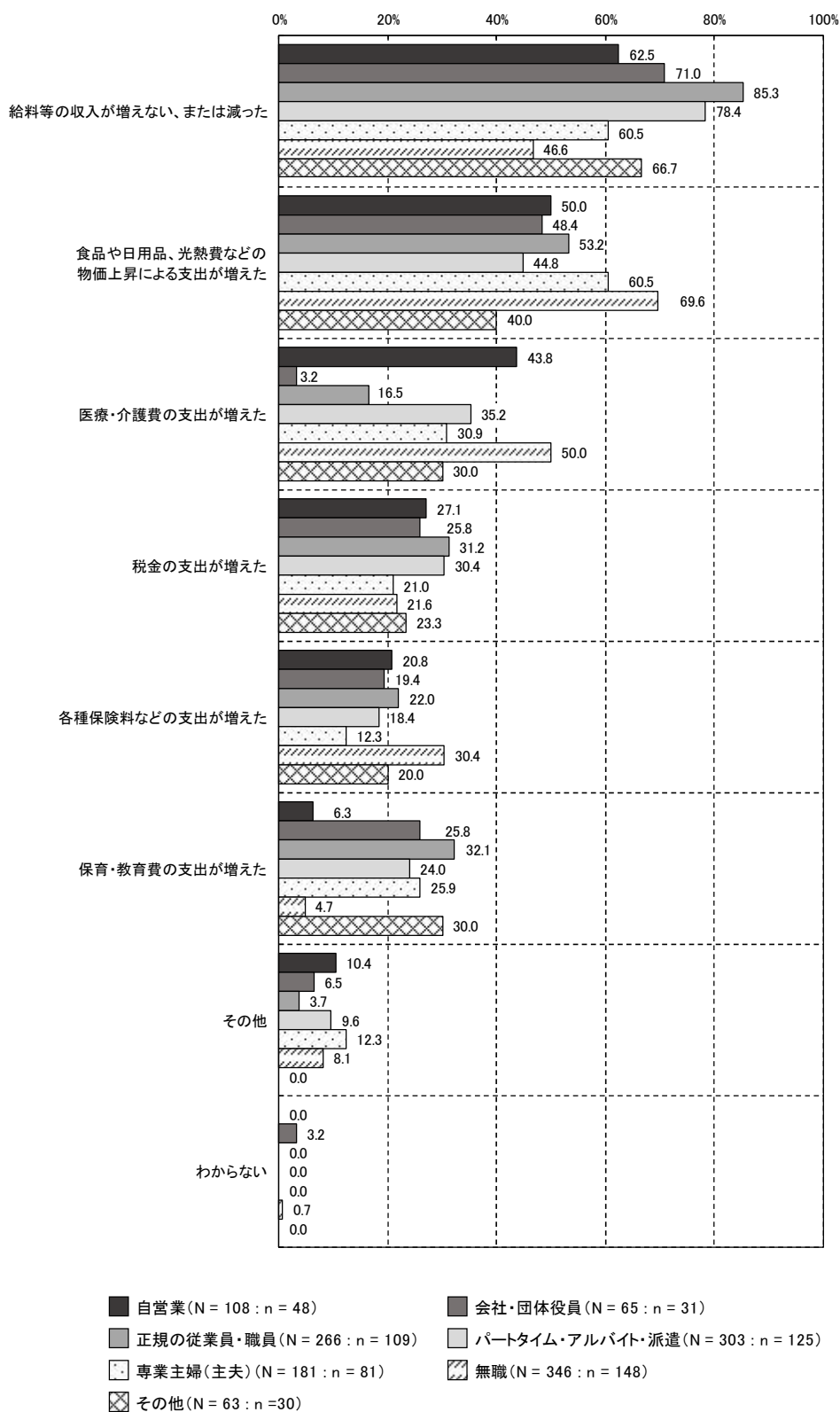
図 1-2-5 【居住圏域別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N＝総回答数 n＝回答者数

職業別（図 1-2-6）でみると、無職を除くいずれの職業においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち正規の従業員・職員が 85.3%と最も高くなっている。

図 1-2-6 【職業別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ その他には、自由業、学生を含む

※ N＝総回答数 n＝回答者数